
髪結いの娘とある女

ari sa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

髪結いの娘とある女

【Nコード】

N5267E

【作者名】

a r i s a

【あらすじ】

私は彩夏。ある時命を落とした。

(前書き)

何も考えずに書きました。気軽に読んで下さい。

昔、お金で雇われて主人の髪を結う髪結いという商売があったの。その髪結いの中に、亜季という娘がいたのよ。

亜季は、金持ちの娘藍に雇われていたわ。藍は、艶やかな黒髪を自慢にしていたわ。

「私ほど髪の美しい娘はいないわ」というふうだね。

だから、他の美しい娘は藍を妬んでいたわ。ある日、藍を妬んでいるある娘が、亜季が藍の髪をとくために使うくしに、刃を仕込んだの。もちろん、亜季は気付かず藍の髪をといたわよ。

そして、藍の髪をバツサリ切り落としちゃったの。亜季はすぐ辞めさせられたわ。

しばらく経って、くしに刃を仕込んだ娘は、死んだわ。首に、藍の黒髪を何重にも巻き付けられてね……。

さつきから話しているお前は誰だって？

私は彩夏。あの日死んだ、娘よ。私はまだこの世にいる。いるべきでは無いのかも知れないけれど……。

仕方ないじゃない？何でイヤなヤツの髪を切り落としたぐらいで死んじゃうわけ？

ヤリカエサナキヤ……

もつとも、藍も亜季も死んでるけどね。

じゃあ、私はどうすれば天国へ行けるの？

このままこの世にいるしかないの？

イヤよ。

お願い、だれか私を助けて。

お願い……

トキガタテバツツホドニクシミカルクカナシミオモクヒトハコワ
レテイク。

レイガイモイルガ。

あの空の上にはなにがあるのかなあ。

私がいるべきなのはどこなのかな。

天国？

それとも……

地獄？

私はそのどちらにも行けないのね。

私は彩夏。300年以上前に命を落とした女。
今日もこの世をさまよっている。

(後書き)

コメントよろしく願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5267e/>

髪結いの娘とある女

2011年1月15日22時05分発行